

議会

- 第3回定例会 -

9月15日に招集された第3回定例町議会は、9月18日、全日程を終えて閉会しました。
今定例会では、鳴海町長、山本教育長の行政報告のほか、令和2年度の補正予算などが審議されました。
町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。



町長行政報告

1 新型コロナウイルス感染症対策について

○対策本部

対策本部会議の開催状況は、2月26日に「新冠町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置以来、5月25日の国の緊急事態宣言解除後においても任意設置の対策本部として、連日、定例の本部会議を開催し、感染者の発生と蔓延防止のための情報収集や各種対策を講じてきました。

日高振興局管内で新たな感染者が発生するなど、まだまだ予断を許さない状況が続いており、加えて、これから季節型インフルエンザの流行期を迎えることから、第3波、第4波の感染拡大に備え、当面、対策本部の設置を継続していきます。

○特別定額給付金の支給結果

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として迅速かつ的確に家計への支援を行うことを目的とした世帯構成員1人、10万円の特別定額給付金の支給結果について報告します。



特別定額給付金
臨時受付会場の様子

特別定額給付金の給付対象者は、国が定めた4月27日の基準日において、住民基本台帳に記録されている住民とされ、当町では5443人の方が給付対象者です。
申請受付は5月7日から開始し、未申請者に対しては、個別に電話による声掛けや直接お会いして申請を促すなど、一人でも多くの方に受給していただくよう努めました。
申請人数は5438人で、率で99・91パーセント、給付総額は5億4380万円です。

○町内各施設の開設状況

現在、利用制限を行っているのは、レ・コード館の一部施設

ら、適宜、配布を検討していきます。



全町民へ配布された
サージカルマスク

○避難所運営訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、災害時の避難所運営においても感染症対策が必要となるため、避難所の分散開設を想定し、職員を対象とした避難所の開設訓練を7月30日に節婦体育館で実施しました。

訓練の内容は、避難所の設置訓練、受付業務訓練、衛生管理訓練の3部門に分けて実施しました。

災害用備品に触れるのが初めての職員が多く、避難所運営経



避難所運営訓練の様子

験のある職員もいないことから、できるだけ多くの職員が体験できるように、今後も継続的に訓練を行います。

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

国における「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の第2次分交付金限度額2億1593万3千円を活用するため、議員皆さまの事業提案や職員のアイデアを含め、事業計画案の精査を行い、40事業総事業費2億2450万5千円の実施計画を立て、8月31日に開会さ

れた第3回臨時議会において、地域との協議が必要な事業を除き予算議決されました。

・農林水産業関係

国の持続化交付金に該当しない経営体に対する支援として1経営体、20万円の交付、「野菜促成栽培施設環境モニタリングセンサー導入事業」、既存の「受精卵移植事業」、「軽種馬セリ市場上場推進事業」、「漁業者漁具整備事業」などへの上乘せ補助、町有牧野では、預託牛や町有牛の事故・怪我の抑止効果向上のため、遠隔監視装置やインターネット無線環境設備の導入などです。

・保健、医療関係

感染拡大に備え町民配布用のマスクや次亜塩素酸水生成装置の購入、医療・福祉・介護施設の安定した事業運営を図るため1事業所20万円の支援、保健活動としてのオンライン通信を活用した支援や介護予防事業の動画配信に供する機器の購入、国保診療所における移動可能な回診用X線診断装置の整備、消防新冠支署においては、呼吸に関する諸症状に対応可能な半自動除細動器の整備、外出機会が

で、構造上、換気ができないりハーサル室や、不特定多数の方が機器に触れる機会の多いレコードの視聴コーナーなどを休止しているほか、町民ホールやシアターなどは、収容率が50%以下になるよう入場者を制限しながら利用いただいています。
今後、北海道対策本部が定めた基本方針に沿って施設の使用制限、イベントの開催制限を段階的に緩和していきたいと考えています。

○町民へのマスクの配布

新型コロナウイルス感染症の拡大により全国的にマスクの品薄状態が続く、入手することが困難となったことから、町として感染症拡大防止の観点からわずかばかりですが、全町民にマスクを配布したほか、70歳以上の高齢者や妊産婦、人工透析患者の方、介護施設・社会福祉協議会・委託業者などへも配布しました。

今後の第3波・第4波の感染拡大に備える必要があるため、町としてもマスクや消毒液などの備蓄を進めています。今後もマスクの流通状況を見極めながら減っている高齢者などへ心身機能の維持・向上のため新冠温泉入浴券の追加交付などです。

・教育委員会関係

感染症対策に配慮した小・中学校修学旅行費の支援、教室内の換気向上のための空気清浄機の整備や効果的な学習を進めるためのプロジェクトなどの機器整備、少人数指導などを充実させるための学習指導員配置、休止中の新冠小学校プールにおいては、密を防ぐためのシャワー・洗顔器の増設や水質管理の向上のための、ろ過機改修工事、認定こども園では床の清掃、消毒の徹底を図るための床改修工事、レ・コード館、スポーツセンター及び郷土資料館においては換気向上を図るための機器の整備などです。

・防災関係

災害時の分散避難に伴う避難所施設設置のための簡易ベッドやテントをはじめとした備蓄用品の充実、主要避難所4カ所において情報発信・受信ができる環境を構築するためインターネット無線環境の整備などです。